



- 専門家からのお話を聞く機会は、教育的にも大きな意味を持ちます。専門家の言葉には一般の教員には出せない「説得力」があり、聞いている子どもたちの「納得感」も一層深いものがあると考えています。
- 学校園でも、できるだけ「子どもたちの心に残る指導」を実現するために、専門家の方からのお話を聞く機会を工夫して設けています。
- 小学校では、9月21日に「交通安全指導」として、交通安全の専門家ともいえる山直上駐在所の大門さんをお招きして、オンラインによる交通安全教室を実施しました。
コロナ禍でのいろいろな制限の中、オンラインによる交通安全指導という初の試みでしたが、子どもたちが地域で安全に過ごすための注意点について、大門さんから熱心なご指導をいただきました。
身の回りの危険やそれを回避する心構えなどについて、手づくりのフリップ（説明資料）や交差点モデルなどをご準備いただいて、視覚的にもわかりやすくアドバイスをいただきました。教室の子どもたちは、真剣にお話を聞いていました。



地域のお巡りさんからの交通安全指導



小学校の保健の先生からの手洗い指導

- また幼稚園では、9月29日に新型コロナ対策でも特に重要な「手洗い」について、小学校の保健室の砂川先生からの保健指導を行っていただきました。砂川先生が準備してくれた「手洗いの点検キット」を使って、自分の手洗いがどのくらいできているのかを実際にチェックしながら学びました。ブラックライトを照らすと、なんと手のあちこちに洗い残しがくっきりと見えてきます。予想以上の洗い残しに、園児たちはビックリ！！実感を大切にしながら、手洗いの大切さや正しい手洗いの方法について、改めて学んでいきました。